



桜井 なおみ

一般社団法人CSRプロジェクト

大学で都市計画を学びコンサルティング会社にてまちづくりや環境教育、費用対効果などの業務に従事。2004年乳がん罹患後、働き盛りで罹患した自らのがん経験や社会経験を活かし、小児がんを含めた患者・家族の支援活動を開始、現在に至る。一般社団法人CSRプロジェクト代表理事、キャンサーソリューションズ(株)代表取締役社長、NPO法人HOPEプロジェクト理事長。技術士(建設部門)、社会福祉士、精神保健福祉士、産業カウンセラー。



藤原 雅樹

岡山大学病院 精神科神経科

2006年岡山大学医学部卒。2008年より岩国医療センター精神神経科、岡山県精神科医療センターでの勤務を経て、2014年より岡山大学病院で勤務。2018年医学博士(岡山大学)取得。総合病院の精神科で、精神障害を抱える方の精神科治療、身体疾患治療の支援に関わってきた経験から、精神障害を抱える方の身体的健康をテーマとした臨床研究を行っている。



島津 太一

国立がん研究センター 社会と健康研究センター/J-SUPPORT/N-EQUITY

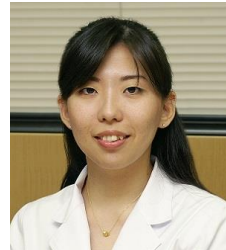
2000年徳島大学医学部医学科卒、佐賀医科大学総合診療部で初期臨床研修。東北大学大学院医学系研究科にて、疫学・公衆衛生学を専攻。2007年より、国立がんセンター予防研究部研究員、2016年同室長。2020年4月より行動科学研究部室長。エビデンスの社会実装を目指す実装科学に取り組んでいる。



山田 富美子

特定非営利活動法人
市民と共に創るホスピスケアの会

関東通信病院(現・NTT東日本関東病院)で看護師として12年間勤務。2005年より、NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会で、がん患者・家族の支援活動や市民へのがん医療、緩和ケア、がん対策などの啓発活動を行っている。



藤森 麻衣子

国立がん研究センター 社会と健康研究センター/J-SUPPORT

公認心理師/臨床心理士。専門は、精神腫瘍学、臨床心理学、行動科学。2004年早稲田大学大学院人間科学研究科満期退学。その後2010年まで、博士研究員として、国立がん研究センター、シカゴ大学、米国スロンケタリングがんセンター記念病院、理化学研究所。2011年から臨床心理士として国立がん研究センター中央病院。2013年から国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所自殺総合対策センター適応障害研究室長。2017年より現職。日本サイコオンコロジー学会理事。

原島 沙季

東京大学大学院医学系研究科 ストレス防御・心身医学/
国立がん研究センター 社会と健康研究センター

2012年東京大学医学部卒。2014年より現在まで東京大学医学部附属病院心療内科に所属、東京大学大学院医学系研究科ストレス防御・心身医学に在学中。2018年より国立がん研究センター外来研究員としてJ-SUPPORT1902研究に従事し、全国がん登録を用いたがん診断後の自死等の実態調査に携わっている。専門は心身症、サイコオンコロジー、緩和ケア。